

# 健康ウオッチング

東陽病院 院長 伊藤 文憲

## 気管支の病氣

今回は気管支の病氣についてのお話です。気管支は12月に述べた上気道の奥の部分です。外部から吸い込んだ空気を肺臓に送る通路です。ただ普通の通路と違って適度に加湿したり、異物を排除する作用もあります。軟骨で枠組みされていますが伸び縮みする通路です。この気管支を舞台として病氣が発生することがあります。

最も頻度の多い病氣は気管支炎です。急性から慢性の気管支炎まで有ります。炎症の舞台は気管支の表面の粘膜上皮です。細菌やウイルスなどの微生物が外部から進入して発病します。異物による刺激から咳や痰が起こり、炎症の程度により発熱や呼吸困難を伴います。気管支の粘膜面での体外から進入した微生物との戦争です。戦いに敗れると内部の肺臓に進入されて肺炎となり、高齢者や小児では致命的な疾患となります。細菌感染では有効な抗生物質の投与が必要です。

気管支粘膜が各種の原因により部分的に狭窄を起こし、その為に内部の気管支が拡張する気管支拡張症や肺気腫などの慢性的な肺疾患を伴う場合には急性気管支炎が収まった後でも長期に咳や痰、呼吸苦等の症状がみられる慢性の気管支炎になる場合があります。この場合には長期に投薬が必要になります。

慢性の気管支炎が悪化する肺機能に影響が生じます。肺での酸素の交換が不十分となり、慢性の呼吸不全になります。常に酸素不足の為に軽い動作でも呼吸困難が生じます。対策は酸素の投与が有効で、入院加療が主体ですが、自宅で酸素を作り吸入するという在宅酸素療法も行われています。

次に多い病氣は気管支喘息です。この疾患は気管支を含めた気道に急性の炎症が繰り返し起こることにより気管支の壁にある平滑筋が収縮して起こります。気管支の内腔が狭くなり呼吸困難が起こります。夜間に発作性に起こることが多く救急外来にて治療の必要な場合が多い疾患です。気管支を拡張させる薬や気道の炎症を抑える薬を長期に内服する必要があります。ステロイドホルモンが有効ですが、その副作用が問題となっていました。しかし、最近では吸入型のステロイド剤が用いられており、副作用の軽減とその有効性の高さから喘息発作の減少がみられています。

気管支拡張症は、原因がはっきりしませんが気管支の構造に狭窄と拡張が起こり、拡張した部分に分泌物が増加し、喀痰の増加や咳・咳漱が起こり、発作性の呼吸困難を生じます。気管支喘息は発作のない時は気管支の内部は均一ですが、気管支拡張症では壁の不整が常に見られます。気管支拡張剤などにより治療します。

◎東陽病院 ☎84-1335

## 法務局 からのお知らせ

合併に伴う取扱い変更

◇登記の管轄 不動産登記は、従来どおり「成東出張所」、商業・法人登記は「匝瑳支局」に変更されます。

◇不動産登記の取扱い事務

◎土地、建物所在の表示

「横芝光町」への物件所有欄の変更は、法務局で行いますが登記が完了するまでは、変更前の名称で交付されることがあります。(変更登記がされたものとみなされる)

◎土地、建物の所有者、抵当権者の住所表示

新町名に変更されたものとみなされるため、手続きは不要です。なお、変更を希望される方は、変更登記申請をして頂きます。

◇商業・法人登記の取扱い

住所変更手続きは、全て法務局で行います。

※問い合わせ先

千葉地方法務局 成東出張所 ☎0475-82-2536

匝瑳支局 ☎72-0334

## 山武地域医療センター

### シンポジウム開催

▼とき 2月18日(土)

▼場所 東金文化会館 小ホール

▼内容 医療センター実現への取組、パネルディスカッションなど

▼申込方法 郵便、FAX、Eメール(電話申し込み可)

住所、氏名、電話番号、「シンポジウム参加希望」と明記

▼申込期限 2月13日(月)

※申込・問い合わせ先

山武郡市広域行政組合 企画課医療センター推進室

〒283-0063 東金市堀上360-2

☎0475-50-0661 FAX 0475-50-0662

Eメール mcp@sanbokuiki-chiba.jp